

Mizuho Daily Market Report

2024/5/30

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	157.13	157.64	+0.47	+0.84
EUR	1.0852	1.0801	▲0.0056	▲0.0022
AUD	0.6655	0.6610	▲0.0040	▲0.0010
SGD	1.3490	1.3522	+0.0035	+0.0014
CNY	7.2487	7.2492	+0.0048	+0.0079
MYR	4.7049	4.7045	+0.0145	+0.0077
THB	36.73	36.75	+0.11	+0.43
IDR	16161	16160	+70	+167
PHP	58.48	58.44	+0.47	+0.37
INR	83.32	83.34	+0.16	+0.06
VND	25454	25458	+5	▲4

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.612%	+6.2 bp	+19.0 bp
日本(10年)	1.085%	+5.5 bp	+7.6 bp
ユーロ圏(10年)	2.690%	+9.8 bp	+15.6 bp
オーストラリア(5年)	4.108%	+12.6 bp	+13.4 bp
シンガポール(5年)	3.344%	+6.3 bp	+8.5 bp
中国(5年)	2.083%	▲0.1 bp	▲3.1 bp
マレーシア(5年)	3.690%	▲0.4 bp	+0.8 bp
タイ(5年)	2.513%	+2.3 bp	▲2.0 bp
インドネシア(5年)	6.908%	+3.8 bp	+7.0 bp
フィリピン(5年)	6.419%	+2.3 bp	+1.9 bp
インド(5年)	7.063%	+2.4 bp	+2.7 bp
ベトナム(5年)	2.180%	▲2.0 bp	+2.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	38,441.54	▲1.1%	▲3.1%
N225(日本)	38,556.87	▲0.8%	▲0.2%
STOXX50(ユーロ圏)	4,963.20	▲1.3%	▲1.2%
ASX(オーストラリア)	4,465.63	▲0.9%	▲2.1%
FTSTI(シンガポール)	3,323.20	▲0.2%	+0.5%
SSEC(中国)	3,111.02	+0.0%	▲1.5%
SENSEX(インド)	74,502.90	▲0.9%	+0.4%
JKSE(インドネシア)	7,140.23	▲1.6%	▲1.1%
KLSE(マレーシア)	1,605.35	▲0.6%	▲1.0%
PSE(フィリピン)	6,411.41	▲1.4%	▲3.0%
SETI(タイ)	1,349.83	▲0.9%	▲1.5%
VNINDEX(ベトナム)	1,272.64	▲0.7%	+0.5%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	297.63	▲0.9%	+0.8%
金	2,338.12	▲1.0%	▲1.7%
原油(WTI)	79.23	▲0.8%	+2.1%
銅	10,326.27	▲0.5%	+0.3%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	156.10	—	158.00
EUR/USD	1.0740	—	1.0950
AUD/USD	0.6490	—	0.6790
USD/SGD	1.3390	—	1.3680
USD/CNY	7.2350	—	7.2680
USD/INR	4.6260	—	4.8050
USD/THB	35.90	—	37.40
USD/IDR	15880	—	16200
USD/PHP	56.70	—	58.80
USD/INR	82.30	—	83.70
USD/VND	25,000	—	26,000

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は157円台前半でオープン。公示仲値決定のタイミングにかけてドル買いが優勢の展開となり、157円半ばまで小幅に上昇する場面が見られた。しかし、その後は、安達審議委員が記者会見で「中長期の予想インフレが上振れれば、円安への対応を考える」などと発言したと伝わり、一転して円が買い戻され一時156円台後半まで下落。引けにかけては157円台前半まで値を戻し、海外時間に渡った。アジア通貨は総じて軟調。ドル買いがやや優勢な中、アジア通貨は軟調に推移。インドネシアルピアは昨日に引続き実需のルピア売り圧力を受け下落幅を拡大させた。

海外時間、欧州時間は小動きとなり157円台前半で推移し米州時間入り。米州時間午前中は米金利が上昇幅を拡大する動きがサポートとなり、157円台後半まで上昇。その後は米ペーじブックが発表されるも、特段サプライズの内容が無いいためか、ドル円は反応薄。その後も高値圏の157円台後半での値動きが続きクローズした。

【金利】

米金利市場は、前日同様長期にかけて金利上昇となり、イールドカーブはスティープ化した。前日に利下げ観測の後退から債券売りが優勢となった流れを受け、寄り付きより売り優勢でスタート。その後も金利は上昇を続け、10年債の利回りは、一時4.63%台を付けた。発表されたFEDペーじブックは、市場には影響薄。米州時間午後には発表された7年物国債入札が低調となり、売りがさらに強まった場面もあった。

【予想】

本日のドル円は底堅い推移を予想。安達審議委員のコメントを受け円高へ振れる場面も見られたが、反応は一時的であり、ドル買い基調が継続している。明日に米インフレ指標の発表を控える中、この流れが継続するものと考えており、ドル円は引き続き底堅い値動きを予想する。

【本日の予定】

(日本) 国債入札(2Y)
(アジア) 1Q 豪 民間設備投資
(アジア) 4月 NZ 住宅建設許可
(アジア) 4月 豪 住宅建設許可件数 / 民間部門住宅
(欧州) 1Q スイス GDP
(欧州) 4月 キリシャ 失業率
(欧州) 4月 スイス 実質輸出 / 実質輸入
(欧州) 4月 ユーロ圏 失業率
(欧州) 5月 ユーロ圏 サービス業信頼感指数 / 鉱工業信頼感指数
(欧州) 5月 ユーロ圏 景況感 / 消費者信頼感(確)
(欧州) 5月 英 全国住宅価格
(米国) 1Q GDP / GDP価格指数
(米国) 4月 中古住宅販売契約
(米国) ウィリアムズ・NY連銀総裁講演
(米国) ホスティック・アトランタ連銀総裁講演
(米国) 新規失業保険申請件数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。